



自宅にテレビがやってきた！

昔

昭和35年



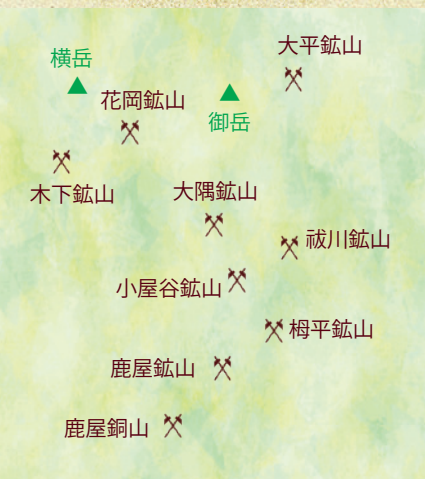
今



テレビ放送の主な歩み

昭和14年	日本初のテレビ公開実験
昭和28年	本放送開始
昭和35年	カラーテレビ本放送開始
昭和62年	衛星放送開始
平成3年	ハイビジョン試験放送開始
平成15年	地上デジタル放送開始
平成23年	アナログテレビ放送終了

日本で本格的にテレビの本放送が始まったのは昭和28年。その後テレビは各家庭に普及し、冷蔵庫・洗濯機と並んで「3種の神器」と呼ばれました。皆さんもテレビを囲んで家族と団らんしたり、チャンネル争いをしたりなど、思い出があるのではないのでしょうか。テレビを囲む家族のうれしそうな笑顔は、今も昔も変わりませんね。



高隈山一帯にあった鉱山の分布図
(「鹿児島県高隈山地鉱床調査報告」等を基に作成)



参考文献＝「鹿屋市史」「郷之原郷土史」「鹿児島県鹿屋銅山概査報告」「鹿児島県高隈山地鉱床調査報告」

大隅半島の最高峰で、「森林生物遺産資源保存林」として雄大な自然の山々が連なる高隈山。かつて高隈山には金属鉱山があり、黄鉄鉱や黄銅鉱、磁硫鉄鉱や自然金などの鉱石の採掘や採鉱が行われていました。現在はいずれも閉山していますが、その多くは高隈山の南側に点在していました。

郷之原町の北西約1kmあたりの山中にあった「鹿屋銅山」では、明治の中期から昭和30年頃まで、採鉱が行われていました。この銅山では鉱夫として十数名が働いて

いたといえます。現場では自家製での精錬(金属から不純物を取り除いて純度を高めること)も行われていました。

ほかに、大浦町の北西にあった「鹿屋鉱山」、明治40年に祓川町の西に開発された「祓川鉱山」、御岳の東側にあり大正時代に盛況を呈した「大平鉱山」など、明治から昭和初頭にかけて高隈山ではそれぞれの鉱山で採掘がなされてきました。現在は登山客などにごわう高隈山の、知られざる歴史

かのやタイムトラベル

高隈山に点在していた鉱山

昔、鹿屋で起きた出来事にクローズアップ！